

# 高度実践看護学演習

[講義・演習] 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]  
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

## 【概要】

NPとして活動する臨床現場を想定しながら、高度実践看護学特論で学習した厚生労働省で定められた当該特定行為を実施するための基礎的知識をより実践的に学習する。本科目では、主に呼吸器管理や瘻孔管理について学習する。PBLの授業形態にてシミュレーター等を使いながら演習を行い、エビデンスに基づいた安全な手技を身に付ける。これらの学習を通じて、NPとしての役割開発と責任の範囲について検討する。

## 【学修目標】

NPとしての役割を鑑みながら、以下を学習する。

1. NPとしての役割開発、そして責任の範囲について検討する。
2. 各特定行為（呼吸管理と瘻孔管理）における適用・禁忌を理解することができる
3. エビデンスに基づいた手技を理解し、シミュレーター等を用いて実践を行うことができる。
4. 各特定行為においてはチェックリストを用いて、適切な実践ができているか振り返り、自身の課題を明確にする

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 専門職としての役割開発	オリエンテーション 高度実践看護師の役割と責任範囲(Scope of Practice) 安全な手技獲得のための学習方法	塚本
2	プライマリ・ケアにおける気道確保・管理	【Web-Learning】(60分) 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う ・気管内チューブの種類 ・気管内チューブの選択 ・気管内チューブの挿入手技 ・禁忌と有害事象 【課題】(30分) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
3 ) 4	プライマリ・ケアにおける気道確保・管理	【演習】 気道確保が必要な患者の事例について、気道確保の選択からその実施、評価の一連の過程を実施	三浦美英(特別講師) 塚本 石角
5 ) 6	プライマリ・ケアにおける気管切開した患者の管理	【演習】 プライマリ・ケアにおける気管切開した患者の管理についてPBLにて学習する ・気管カニューレの交換手技 ・気管カニューレの選択とその実際 ・気管カニューレのトラブルシューティング	樋口秋緒(特別講師) 塚本 石角
7	プライマリ・ケアにおける胃瘻・腸瘻を持つ患者へのカテーテル交換	【Web-Learning】(60分) 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う ・カテーテルの種類と交換 ・交換手技 ・適切な位置に挿入されているか確認方法 ・日常管理 ・トラブルシューティング 【課題】(30分) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
8 ) 9	胃瘻・腸瘻カテーテルまたはボタンの交換	【演習】 実際の事例を基に、交換におけるアセスメントから手技の実施、そして評価までの一連の過程をPBLで学習する	野島弘基(特別講師) 塚本 石角

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	プライマリ・ケアにおける膀胱瘻カテーテルの交換	<p>【Web-Learning】（60分）</p> <p>指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・膀胱瘻造設について</li> <li>・カテーテルの種類</li> <li>・交換手技</li> <li>・日常管理</li> <li>・トラブルシューティング</li> </ul> <p>【課題】（30分）</p> <p>動画を使用した上で課題レポートを作成する</p>	塚本石角
11 ） 12	プライマリ・ケアにおける膀胱瘻カテーテルの交換	<p>【演習】</p> <p>実際の事例を基に、交換におけるアセスメントから手技の実施、そして評価までの一連の過程をPBLで学習する</p>	樋口秋緒（特別講師） 塚本石角
13	プライマリ・ケアにおける中心静脈カテーテルの挿入と管理	<p>【Web-Learning】（60分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う</li> <li>・血管アクセスデバイスの種類とその選択</li> <li>・血管アクセスデバイスにおける感染予防 など</li> </ul> <p>【課題】（30分）</p> <p>動画を使用した上で課題レポートを作成する</p>	塚本石角
14 ） 15	プライマリ・ケアにおける中心静脈カテーテルの挿入と管理	<p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢静脈カテーテルの挿入方法を実習で学ぶ</li> <li>・以下のトピックスに関して、プレゼンテーションを行う</li> <li>・血管アクセスデバイスとしての中心静脈カテーテルの選択が必要な時</li> <li>・カテーテルの管理方法に関する事例検討</li> <li>・感染予防、特に血流感染予防 など</li> </ul>	塚本石角

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験（70%）、実技試験（30%）にて評価する

【教科書】

随時提示する。

【参考書】

適宜提示する。

【学修の準備】

必要な文献・資料を熟読しておくこと